

船舶インシデント調査報告書

平成24年7月12日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

インシデント種類	運航不能（船外機脱落）
発生日時	平成23年7月14日（木） 08時00分ごろ
発生場所	山形県鶴岡市波渡 ^{はと} 埼北東方沖 波渡埼灯台から真方位056° 760m付近 （概位 北緯38° 41.4′ 東経139° 38.1′）
インシデント調査の経過	平成23年10月4日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	プレジャーボート みずき丸、5トン未満 210-54539山形、個人所有 3.78m (Lr) × 1.44m × 0.60m、FRP ガソリン機関、7.30kW、不詳 船長 男性 62歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和52年9月9日 免許証交付日 平成22年7月1日 （平成28年4月7日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	なし
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、船外機の試運転のために波渡埼北東方沖の釣り場まで行き、平成23年7月14日08時00分ごろ、釣りを終えて発進する際、船外機のギアを前進に入れて回転数を上げたところ、船外機が脱落して水没した。 本船は、08時12分ごろ118番通報して救助を求め、09時30分ごろ海上保安部の要請で来援した水難救済会所属船にえい航され、09時40分ごろ鶴岡市堅 ^{かたのりざわ} 沢漁港に帰港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 3 海象：海上 平穏
その他の事項	本船は、平成22年7月に購入され、同年に着水状態の確認を行い、本インシデント当日に船外機の試運転を行った。 本船は、本インシデント当日に保管場所から陸送され、船外機が船体のトランサムに直接取り付けられた状態で着水された。 本船は、釣り場まで船外機の試運転を行った後、船外機の取付け状態を確認していなかった。 船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、船外機の試運転で波渡埼北東方沖の釣り場まで行き、釣りを終えて発進する際、船外機がトランサムに直接取り付けられていたことから、船外機が脱落して運航不能になったものと考えられる。 本船は、本来、船外機をトランサムにトランサムパッドを挟んで取り付けるところ、トランサムに直接取り付けられていたことから、船外機の取付けが緩みやすい状態となっていた可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、船外機の試運転で波渡埼北東方沖の釣り場まで行き、釣りを終えて発進する際、船外機がトランサムに直接取り付けられていたため、船外機が脱落したことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 船外機は、トランサムにトランサムパッドを挟んで取り付けること。 ・ 救命胴衣を着用すること。	